



廣齒連盟ニュース

HIROSHIRENMEI NEWS

平成27年8月5日
第163号

発行所 広島県歯科医師連盟
広島市中区富士見町11-6
エソール広島820 TEL(082)241-8020
ホームページ http://hpdpf.jp
編集兼発行人 梶田博昭

第125回日本歯科医師連盟評議員会

平成27年6月26日(金)午後1時より、日本歯科医師会館「1階大会議室」に於いて、日本歯科医師連盟評議員会が開催された。冒頭、高木幹正会長より現執行部最後の評議員会に当たりお礼の言葉があり、より一層の法令遵守の業務管理体制の充実を行っていききたいとの挨拶があった。議事事項では議案がすべて可決決定し、協議事項では提案も含め熱心な議論がなされた。

氏名点呼の後、高橋英登副会長の開会の辞があり、議事録署名人指名では議長より高野一夫評議員(茨城県)野中清貴評議員(山口県)が指名された。

物故会員に対する黙禱に続き、高木幹正会長より「皆さんこんにちは。全国各地から足元の悪い中、ご出席下さりありがとうございますとございます。今日の評議員会は現執行部の最



挨拶する高木幹正日歯連盟会長

後の会議です。この2年間連盟会員の皆様にご多岐にわたるご声援をいただき、誠にありがとうございます。お支え頂き御礼申し上げます。この度の東京地検の捜査につきまして、先生方にはご心配ご迷惑をおかけしてありますこと、心からお詫び申し上げます。本連盟は平成16年の不祥事の反省を踏まえまして法令遵守を徹底し、専門家のご指導を仰ぎながら業務管理体制を整備して

策等を次々と打ち出してきているように思えてなりません。ただ我々としてはこういう状況でありますが、目前に診療報酬改定が控えており、基金の問題や税制改革なども控えてあります。乗り遅れないようしっかりと連携を取りながら、対応していきたいと思っております。こういう状況の中で可能な限りということになりませんが、きめ細かい対応をさせて頂き、これ以上歯科の状況が悪くならないようにしたいと思っております。最後に

な状況を日歯、日歯連盟学会、そして8020財団など関係団体が丸ごとになって共通認識の下に、この難局を乗り越えなければいけない。先生方それぞれ御立場から、ご指導頂ければありがたいと思っております。今日は色々な議題が出ております。皆様のご意見を賜りながら有意義な評議員会とさせて頂きたいと思っております。よろしく

お願い致します」と挨拶があった。続いて、渡邊孝一衆議院議員、白須賀貴樹衆議院議員、比嘉奈津美衆議院議員、島村大参議院議員の挨拶があった。次に国会報告として西村まさみ参議院議員より「評議員の先生方改めましてこんにちは。第125回日本歯科医師連盟評議員会の開催、誠にありがとうございます。高木執行部の先生方本当にお疲れ様でございます。評議員の先生方も長い間本当にお疲れ様でした。私は正にこの高木執行部4年間の中で育てて頂きまして、国会議員を無事5年間過ごす事が出来たと思っております。多くの事をたくさん教えて頂きました。これから後どうやってこれをお返ししていくか、こういうところが一番大きな問題だと思っています。国会報告という事でお時間頂戴しております。昨年現在まで本当に多くの質問を頂く時間を頂きました。今年も本会議で安倍総理に代表質問をする事が出来ました。委員会の中では5回、とりわけその内1回の質問では50分の時間を頂きまして、各地へ廻って先生方から集めてきた「指導」について昨年からの徹底的に質問をさせて頂いております。昨日も岡山県に行つて色々な事を教えて頂きました。一番の問題はもう20年にもな

ります指導大綱を見直す時期に来ていること。ただそれに対して見直す事がどういう結果に繋がるかという事を見極めながらしっかりと見直しをしていかねばなりません。やはり指導選定基準の見直しを当然するべきであり、資料を見ると20年前のものでも、客観的な指標は高点数かどうかということですが、高点数イコール悪というように捉えられ兼ねないままで20年来ています。当時のQ&Aを見てみますと、まだ始まったばかりなので問題点があったときには速やかに解決もしくは見直しをするという事ですが、全く見直されてきていない訳です。歯科医師の数は増え、一方で患者さんもこの不景気の中、歯科医院を訪れる機会が減つた訳ですから当然高点数になる事はありうる訳です。在宅へ行ったり施設に行ったり、歯科医師も高齢の現役の先生方がいっぱい働いていらっしゃる。診療日数を少なく、患者さんの数が少なく、患者さんが少なければ補綴をすれば当然高点数になります。現状は先生方がそれをなんとか平均点数を低くおさめるための萎縮診療をしてきたり、補綴物のセツトを翌月に持ち越したりするといった事を全国から伺って参りました。塩崎大臣には私が質問したときに何か案を出してみて下さいという事でしたので、厚生労働委員会



第125回日歯連盟評議員会(6/26)

か、いずれも明確な答えが無いまま残念ながら法律が成立しました。しかし附帯決議の中でやるからにはきちんと試算をすべきであり、もし解散を余儀なくされた時に国のお金はどういう風に関わってくるのか、そして所得の水準で実歯科医師の所得はあまり高くないことが分った訳です。で、把握の仕方もちんとやってみようと思いたす。これは私の立場からしつかり見届けていく事が出来る事だと思つています。診療報酬改定はいよいよ来年です。今年も先生方ご承知のように昨年と同様価値の診療報酬の引き下げ財源を歯科の診療報酬に使えないという事です。何かをプラスにすれば何かマイナスにしていかなければならない。そもそも財源の確保をどうやっていくかは与党の権限であつて野党の権限ではありませんのでそれ以外のところでバックアップしていきたいと思つています。石井みどり先生を先頭に歯科医師の議員7人の力をもつて一緒に戦つていけば必ず前に進めていく一歩に繋がつていきますので是非とも協力してやってみようと思つています。又、消費税が10%になる前に景気がどういう状況であつても厳格にはつきりと私たちの控除対象外消費税をどういう形でして行くのが一番良いのか、これは医療界の団体全部が同じよ

うな見解を出すべきだと思つています。しかし歯科の場合は個人の診療所が多く、様々な事務手数料というものが掛かり、事務的煩雑を負つてまで出来る事でない事を私は党内で言つています。一つの案として、議員立法で申請したら全額に関わる部分を送付という形でやつていけたらどうだろうかという話をしています。医療ですから、課税というのは馴染まないと思つています。しかし今のまま非課税では財源的には無理がある。その結果2年連続で診療報酬が下がるという事になつた時は、一番ダメージを受けるのは健康を守らなければならぬ私達でなく国民の皆様であるのかと思つています。いずれにしてもあと一年の任期、そして組織代表としてしつかり働いて参りたいと思つています。私達が一致団結してもつと壁を越えて医療界の代表でいこうと思つています。政治家ですから自分の言つたことは必ず実現するという事をお約束してご挨拶とさせて頂きます。日頃から大変お世話になつてありがとうございます。これからもどうぞ宜しくお願いいたします」と報告があつた。

- 報告事項**
- (1) **会務報告**
資料に基づき、峰理事より平成27年2月
- 議事事項**
- (1) 鴨田副理事長より
第1号議案 平成26年度一般会計収支決算
(2) 第2号議案 平成26年度政治活動運営会計収支決算
(3) 第3号議案 平成26年度運営基金積立金会計収支決算
(4) 第4号議案 平成26年度役員退職金積立金会計収支決算

1日から平成27年4月30日までの連盟関係報告がなされた。

(2) **会計報告**
資料に基づき、鴨田副理事長より平成27年4月1日から平成27年5月31日までの一般会計現況報告がなされた。

(3) **監査報告**
資料に基づき、佐藤常任監事より監査報告がなされた。

へ引き渡す為の改革となつていきます。今までは社会保障の持続可能性を先ずかとしてきたが、今はもう限界だという事で国民のコンセンサスを得ながら抜本的な改革を打ち出されて来ましたが、持続可能な国民介護保険をする社会保障制度、経済成長と協調する社会保障制度、人口減少社会にあつた効率的な医療制度提供、健康に生きがいがある社会、お互いに支え合う社会を目指す。自分が責任を持つて健康管理をしていく事によって、医療費の抑制に繋がりに経済の活性化に繋がる。我々は抑制策だと受け取つていますが、医療費の抑制とは今回の政府の見解は国民の保険料とか税金負担が軽くなり経済が活性化するという切り口であり、医療の適正な健全化の為、生活習慣病を中心として適切な介護予防を目指し、医療品等に関する適切な改革をして財源を確保して行くことというものです。平成28年度の予算編成の基本的な考え方は、経済再生と財政の健全化の為歳出を改善して社会保障については税と一体改革を確実に進めて行き出来れば前倒しで速やかに進めていくという方向性であり、今後歯科系議員を中心にしての様々な所から情報を集め、しつかりやつて行きたいと思つております。基金の活動に

おいては、各ブロック単位に分け地方の連盟活動において地元の議員と信頼関係を築いて頂く事が大切であると思つておりますので宜しくお願ひ致します。また献金疑惑については今、地検の捜査が行われていますので、まだ我々の見解を詳細にお話する事が出来ないため、弁護士より今後について説明を頂きたいと思つています。

その後、佐々木弁護士より説明がなされた。

(2) その他
(事前質問に対する質疑応答)

問1 日歯連盟メーリングリスト作成について
(熊本県・渡辺賢治議員)
執行部より日頃の会議においてもメーリングリストの果たす役割は大きいと思つていますので、次期執行部に申し送りする対応をさせて頂きます。

問2 妊産婦歯科健診の早期制度化を 成育基本法に乗り遅れるな
(兵庫県・西山彰議員)
執行部より各都道府県における予算に關して議員と連携して勉強を深めて行きたいと思つています。連盟としては成立に向けて努力して行きたいと思つております。

以上で全日程を終え、右田信行副会長が閉会の辞を述べ、第125回評議員会を終了した。

第54回自由民主党広島県支部連合会大会

広島県連合会長表彰を受く

6月7日(日)午後1時より「リーガロイヤルホテル広島」に於いて、標記大会が行われた。

互礼、国歌斉唱、党员物故者に対する黙禱、開会の辞、議長及び副議長の選出の後、岸田文雄自民党広島県連支部会長(外務大臣)の挨拶が行われた。

続いて、湯崎英彦広島県知事並びに松井一實広島市長より祝辞が述べられた。その他出席した広島県各選挙区、比例代表の衆参両院議員及び市議会会長、町村議会議長らの来賓が紹介された。次いで、自民党の政治活動に顕著に貢献した。

授賞された齋田健一県歯連盟常任理事
授賞された三反田孝県歯連盟副理事長

献された各地域や職域支部の広島県連合会長表彰が行われ、広島県歯科医師連盟からは三反田孝副理事長及び齋田健一常任理事が授賞された。

続いて、議長に移り、宇田伸幹事長より党情報告が、富永健三政務調査会長より政策報告が、そして中本隆志組織委員長より活動方針が報告された。参加者

高木前日本歯科医師連盟会長が、日本歯科医師会会長に就任、さらに山科日本歯科医師会副会長の誕生。広島県にとって、石井みどり参議院議員の活躍と共に更なる飛躍の年になる事を期待する。

(K)

新国立競技場建設に2500億円もの予算がかかる問題になった。東京スカイツリー1本が650億円、4本分だ。地元MADAZOOM ZoomスタジオM広島建設費が110億円だ。そつだ。やはり高すぎると思う。安倍首相より計画を白紙に戻すとの発言があつた。今度は税金の無駄遣いをやめ、国民の賛同が得られる競技場を作ってもらいたい。そして東京オリンピックを楽しむに、アスリート達を応援したい。

(泰)

消費税が10%に上がることは決まつているが、今度こそそれに対する診療報酬の見直し、或いは医療費の財源がないのなら消費増税に対する特別な措置を必ずや講じてもらわないと、私達は益々ワーキングプアになります。是非とも納得のいく改善を願つております。

(T)

来年7月の第4日曜日に次期職域代表の砂川稔氏の参議院選挙が予定されている。日歯連盟の政治資金の問題が解決するまでは選挙活動を謹むというものだが、いくら歯科の団結力を持つてしても、早急に活動開始をしないと間に合わなくなつてしまつてはならないだろうか。

(志)

編集後記



授賞された齋田健一県歯連盟常任理事



授賞された三反田孝県歯連盟副理事長



来賓の松井一實広島市長



来賓の湯崎英彦広島県知事



挨拶する岸田文雄自民党広島県連支部長(外務大臣)